

くすのき



西合志第一小学校
学校だより 第47号
文責 校長 西村羊治

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

令和6年11月19日

自分を語ることの大切さ！

涙を出しながら力をふりしぼって発表する子、ドキドキしながら発表する子、自分の本当の思いを少しずつ少しずつ考えながらゆっくり発表する子。11月13日（水）の5時間目、西合志南小学校の5年4組人権学習の授業を参観させていただきました。各学校では、「部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくす取組」を毎年やっています。しかし、部落差別をはじめとするあらゆる差別が、いまだに解消されていません。合志市の12の各小中学校では、

西合志南小5年4組人権学習



差別の現実深く学び、くらしを高め、豊かな未来を保障する人権教育を創造しよう

というテーマのもと、各学校で差別をなくす取組を行っています。また、今回のように公開授業及び事後研究会も行っています。担任の先生自らが、涙ながらに自分の差別心の言動を語り、教師となった今でも後悔とこんな自分が教師をしていいのか等を子どもに語ります。子どももその語りを受けて、自分の言いにくいことを語っていきます。自分を語る、人の本当のつらさを知る、そしてさらに自分を語る。このような取組が、温かい雰囲気の中で展開されました。やさしく人の気持ちを考えることのできる5年生に育っているなあ、と感じました。第一小のみんなもやさしい子ばかりです。みんなで差別をなくしていきたいと思えます。

大きな大きなおいも

大きな大きなおいも

「先生見て～！」「このいもはもっと下まで入っているよ～」 「でっかいのがとれたよ～」 11月14日（木）の4時間目、2年生は生活科でいも掘りをしました。2年生が、ブランコ近くのお芋畑で大きな大きなおいもをたくさん掘り出しました。本当に色鮮やかなおいしそうなおいもがたくさんとれました。子ども達の明るく元気で嬉しそうな表情が、とても印象的でした。移植ごてでいもを掘りながら、泥だらけになり収穫する。昔の暮らしでは当たり前だったのですが、今ではなかなか経験することはできません。学校の生活科などの授業でこのような体験をたくさんし、豊かな心を育てていきます。おいもが、大きく育つように管理を丁寧にしてくださっていた濱崎先生、担任の江住先生や平井先生、ありがとうございました。



扇風機掃除とレクリエーション

PTAのすばらしい連携！

11月16日（土）、愛校作業を行いました。今回は、刈払機をお持ちの方は運動場周りの草刈り、その他の保護者や児童のみなさんは、教室の窓拭きや子どもでは届かない高い所のほこり取りなどに取り組んでいただきました。教室内の清掃を保護者にしていただくのは、本校では初めてでしたが、1時間で教室や運動場がとてもきれいになりました。また、その後は体育館で親子玉入れのレクリエーションを行いました。私も参加しましたが、運動量もあり楽しく健康的な汗を、子ども達や保護者の皆様と一緒にかくことができました。PTAの方々のすばらしい連携に感謝です。